

種別	行事名	令和6年度実施予定	場 所	事業概要(研究・事業連携)／博物館による対応内容(授業・教育活動)	学生等参加者	三重大担当部局・担当者	博物館担当職員	利用申請日	
<b>研究・事業連携</b>									
研究1	ウミガメ類の研究	継続中	三重県総合博物館・県内海岸各地	伊勢湾・熊野灘に漂着したウミガメ類の研究(標本収集、解剖、X線撮影、骨格標本作成、標本保存)	-	生物資源学部サークル「かめつぶり」	船坂徳子(吉岡基)	北村・田村	
研究2	クジラ類の研究	継続中	三重県総合博物館・県内海岸各地	伊勢湾・熊野灘に漂着したクジラ類の研究(標本収集、解剖、X線撮影、骨格標本作成、標本保存) ※平成30年度からは伊勢・三河湾ストランディングネットワークとしての活動も含む。	-	生物資源学研究科 生物資源学部サークル「かめつぶり」	船坂徳子(吉岡基)	北村・田村・稲垣	
研究3	花粉媒介の昆虫類に関する研究	継続中		チシマイワブキ属の3種について花粉媒介を行う昆虫類を関係について研究する。日本生態学会で報告あり(2019)。6年度も継続実施中	-	全学共通教育センター	福田知子	大島	
研究4	生物の多様性解明に向けた地域自然史情報の活用と分類学的研究	継続中	三重県総合博物館	三重大学施設等での調査で得られた研究の証拠資料を標本化し、レファレンスコレクションとして管理するほか、地域資料情報としての活用を目指す。また生物多様性解明にかかわる昆虫類の分類学的な研究を進める。(6年度も継続実施中)	-	生物資源学研究科	塚田森生	大島	
研究5	コイ科タナゴ亜科魚類の遊泳能力の研究	継続中	三重大学・全国	日本産コイ科タナゴ亜科魚類各種の遊泳能力の比較。山田穂高@H30卒業研究の発展形で恒松祐輔@R4卒業研究。三重大学から実験計画の発案および実験に使用するタナゴ類(絶滅 危惧種:山形県のキタノアカヒレタビラと松阪市のイチモンジタナゴの提供)の提供(6年度も北村学芸員と継続実施中)	-	生物資源学研究科	森川由隆	北村	
研究6	三重県希少野生動物種ウシモツゴの調査・保全活動	継続中	伊勢市のため池	淡水魚であるウシモツゴの生息個体数や成長、個体群構造の調査や外来種のザリガニの駆除を実施している。(6年度は内宮近くのため池でミエム・鳥羽水族館と共同で保護活動を継続中)	-	生物資源学研究科	河村功一	北村	
研究7	コイ科タナゴ亜科魚類の系統進化の研究	継続中	全国	日本産コイ科タナゴ亜科魚類各種の遺伝子分析用サンプル収集(海外の研究者も交えた研究プロジェクトで6年度も継続実施中)	-	生物資源学研究科	河村功一	北村	
研究8	タナゴ亜科魚類の種多様性の維持・生成機構の解明・博物館の展示資料等における展示標本作製技術開発や展示手法の開発及びその評価手法の開発	継続中	三重大学	大学院生物資源学研究科リサーチフェローとして博物館の学芸員を受入れ、研究活動を行う。(6年度も研究を継続実施中)	-	生物資源学研究科	木村妙子	北村	
研究9	3次元レーダによるセキュリティ検査システムの研究開発	2/25(火)	三重県総合博物館	三重県総合博物館内のエスカレータを使用した実験および打合せ	10	工学研究科	村田博司 鈴木CD	太田	1/17
人材育成1	三重ジュニアドクター育成塾(JST次世代科学技術チャレンジプログラム)	継続中	-	県内の小中学生を対象にした科学人材育成プログラム。博物館が連携機関として参画。R6年度: 三重ジュニアドクター育成塾の広報活動への協力	-	教育学部	平山大輔	-	
事業1	イルカ・クジラ学習会	5月6日(月・祝)	三重県総合博物館	ミナミハンドウイルカやスナメリについて、生態を紹介し、身近に野生動物が暮らしていることを参加者に知ってもらう。また、調査手法の体験やクイズに挑戦し鯨類全体に対する関心を高め、その生息海域の環境保全につながるように啓発を行う。 対象者:小学生とその家族 77名参加	-	生物資源学研究科附属鯨類研究センター	八木原風 神田育子	太田	
事業2	生物資源学研究科 研究活動紹介パネル展2024 in MieMu	11/27(水)-12/8(日)	三重県総合博物館	2階交流展示室 所属教員・学生によるポスター展示	-	国際・情報部図書館チーム	吉岡・森阪	太田	
事業3	三重大学アカデミックフェア2024 in MieMu	12/20(金)-1/9(木)	三重県総合博物館	3階学習交流スペース アカデミックフェア2024のポスター(一部)展示、大学資料配付 他	-	博学連携推進室(教務チーム・松井)	吉岡・野田	太田	
事業4	公開シンポジウム「鯨類のストランディング」 大学・博物館・水族館との連携による調査とその意義	2/22(土)	三重県総合博物館	3階レクチャールーム	-	生物資源学研究科附属鯨類研究センター	森阪	太田	
R7年度事業	工学研究科 研究紹介パネル展	令和7年度 4/26(土)~5/11(日) 開催希望日	三重県総合博物館	2階交流展示室 所属教員によるポスター展示、Web閲覧	-	国際・情報部図書館チーム	大井	太田	
委員1	三重県総合博物館協議会委員	継続中	三重県総合博物館	館長の諮問機関として、博物館の運営等について助言を行う。	-	事務局(役員室)	吉岡 基	福田	
<b>授業・教育活動 ※学芸員実習、教育的インターンシップは別まとめ</b>									
授業教育1	共通教育・教養基礎科目 「日本理解特殊講義 三重の歴史と文化」	5月15日(水)・22日(水)	三重大学	歴史学から見る三重の「食」について、太田学芸員が講義(ゲストスピーカー)を担当	49	教育推進・学生支援機構	富樫 健二 田中 貢*	太田	
授業教育2	共通教育・教養基礎科目・生物学1 「生物学 多様性の生物学」	10月29日、11月6日	三重大学	生物多様性にかかわる地域博物館の役割と地域情報について、大島学芸員が講義(ゲストスピーカー)を担当	-	全学共通教育センター	福田知子	大島	
授業教育3	生物資源活動タイム	7月24日(水)	三重県総合博物館	常設展見学、レクチャールームでの講義	48	生物資源学研究科	河村功一 西井和晃	北村	5/13
授業教育4	博物館概論(教育学部・生物資源学部)	6月9日(日)	三重県総合博物館	施設見学、資料活用についての講話	6	教育学部	岡田博明 岡野智子*	宇河	5/15
授業教育5	博物館実習(人文学部・学内実習)	6月14日(金)25日(火)	三重県総合博物館	博物館活動の概要と施設・設備の見学研修、博物館の諸活動、民俗資料の展示と活用	12	人文学部	塚本明 澤田裕子*	宇河	5/13
授業教育6	海洋動物学実験	7月15日(月・祝)	三重県総合博物館	教育的インターンシップとしての三重県立総合博物館の見学。 バックヤード見学および常設および企画展の見学	19	生物資源学研究科	木村妙子	北村	4/26
授業教育7	博物館情報・メディア論(生物資源学部)	9月12日(木)	三重県総合博物館	展示室とバックヤード見学、およびレクチャールームあるいは実習室での座学と課題作成	20	生物資源学研究科	森阪匡通 北村美香*	中村	5/8
授業教育8	キャリア教育入門	10月9日(水)以降	三重県総合博物館	ガイダンス及び見学1日、来館者対応・子ども向け事業の補助3日	17	教育学部	藤田達生	太田	8/29
授業教育9	フィールド地質学	10月27日(日)	三重県総合博物館	展示内容、三重県の地質に関するレクチャー	40	生物資源学研究科	岡島賢治 森 康則*	津村	7/3
授業教育10	家政教育研究	1月23日(木)	三重県総合博物館	津振子肩衣(つもじかたぎぬ)及び、麻を用いた生活用品などの資料の熟覧および参考文献を閲覧し、地域の伝統織物に対する理解を深める。	3	教育学部	横山真智子	太田	1/8